

真庭市立勝山小学校(〒717-0007 岡山県真庭市本郷 1801) 令和4年度学校だより11号(5月6号)自学
幸せになる練習 子育ては待つ練習 夫婦は許す練習 人生は笑う練習 R3年あいさつ約75% 気持ちの良いあいさつ22.2%



勝山

R4.5.30 あいさつ 中橋 85.3%
バス通 90.9% 気持ち良い 21.7%

★勝山漢字HP掲載中★

学力▲47.8 体力●60.4%(全国平均突破率) 生活意欲●32

卒業するまでに、逆上がり、二重跳び50回以上、漢字は毎回100点をとれる子に

Tel:0867-44-3141 Fax:0867-44-3142 Mail:katsuyama_es@maniwa.gse.okayama-c.ed.jp

小学校で大切なこと

学校が好き
学び方がわかる
人とうまく関われる
コロナに勝つ!!

自学



自学大作戦!! 4年 切磋琢磨

小学校で大切なこととして「**学校が好き**」「**学び方がわかる**」「**人とうまく関われる**」の3つを挙げています。そのうちの「**学び方がわかる**」ために自学ができるようになってほしいと思います。この絵にあるチラノサウルスは4年生の曹辰皓くんが描きました。勢いのあるこの絵から辰皓くんのやる気が伝わってきます。4年生の掲示コーナーで見つけ写真にとりました。辰皓くん、すごい!! 勝山小学校の学力的課題を克服するためにぜひ、家庭学習を充実させましょう。

■「校長先生、今度広島へ行くけん、原爆のことを作文に書いてくる」とある子が話しかけてきました。友達の作文が新聞に載ったのを見て自分も投書しようと思ったのです。これも自学。素晴らしい意欲です。切磋琢磨する。お互いを高め合える友達同士でありたいものです。

魚がわきだす川⑦

教師人生延長戦の私の役割は「伝える」こと。ここで紹介する内容は、今では許されないこともあります。こんな経験が今の自分をつくってくれたと当時の環境(自然や濃い人間関係)に感謝しています。拙い文ですが子どもたちがより良く生きるヒントになるといいな。諸先輩方、子や孫へぜひ皆様の「昔語り」を!!

■筏づくり 2・・・ 次の年の春になりサトくんがこう切り出した。「筏を作るぞ」「えっ、また?」「今度は絶対に沈まんやつじゃ」僕は4年生になっていた。今度は、竹ではなく山から木を切り出して作るようになった。山の木といっても自由に切れるはずはない。今回もサトくんの家の山だ。サトくんの家から3、4km奥にある山の中だ。サトくんの家は滝の畝にあり「おいで」までは約1km。山から「おいで」まで丸太を4、5km運ぶことになる。サトくんは本気だ。竹の筏に乘れなかったことが相当悔しかったのだ。春休み中に花見を兼ねて下見をし、切り出す木まで決めるほどであった。花見の翌日、決行することになった。花見は子どもだけで計画するが弁当を作ってくれるのはお母さんだった。その関係か3月の最終日曜日から4月の最初の日曜日が子ども達の花見と決まっていた。この時は、4月だった。次の日は月曜日。日曜日に比べて大人の目がやや少なくなる。その日をねらって山へ行く。マサカリ、ノコギリ、ロープもあった。竹の筏で失敗した秋の日から半年。今回は、ホウノキを使う。ホウノキは大きな葉っぱのある灰色の木だ。4月の初めなのでまだ葉っぱはない。マサカリとノコギリを使い太い4本の木を切り出した。今回は、ヒックくんもいる。ヒックくんは6年生だ。ロープで2本をくくりつけ、2人で運ぶ。僕とサトくん、ヒックくとヒロちゃん。ケイクンは、交代要員だ。ずっしりと重いけどほとんどが下り坂なのでなんとか運んでいける。5人とも汗だくだった。いつの間にかホウノキの皮がめくれつるつるした木肌が見える。僕たちは、馬のように山の中をかけとうとう「おいで」に到着した。ヒロちゃんは家から大工道具を持ってきた。僕たちは川原にあった角材を集めた。今回は竹のようにはいかない。5寸釘を使い筏の表と裏を角材でとめた。竹の筏に比べとてもかっこいい。筏が完成するとみんなで乗ってみた。今度は一度に2人まで乗ることができた。「やったー」半年越しの誰もが乗れる筏。疲れきっていたが5人がそれぞれ乗り心地を確かめた。この日から乗りたいときに乗ることができる僕たちだけの筏が完成した。4月、5月と大切に遊んだ。ところが6月のある日のこと。その日は朝から雨がふっていた。入梅だ。家の前の田んぼの水位が上がってくる。雷も鳴り出した。「あっ、筏・・・」傘も差さずに家を飛び出していた。保育園の前まで来ると、ヒロちゃんやヒックくんも家を飛び出してきた。と、その時目の前の且土川を僕たちだけのあの筏が流れていった。3人とも川下に向けて走り出す。雨はどんどん激しく降り出し川もみるみる増水した。津田小学校前まで行くと激流の向こうに筏は見えなくなってしまった。「せっかく作った筏だったのに・・・」「もう少し早く気がつけば間にあったのに・・・」「もったつくしばっておけば・・・」そんなことを言ってみても後の祭りだった。 つづく・・・次回は「冬の川遊び」

変心カード

福富佐和



ヘアスタイル係をがんばっています。

○こんな人になりたい!(私があんな人)

○将来の夢は (ヘアサロンの美容師)

○(18)年後の自分は (さいい人)

○1学期末の自分は (ヘアスタイル係の3年生)

○20回を1回に減らす

○20回を1回に減らす

○20回を1回に減らす

○20回を1回に減らす

3年生になって 3年生 船津 碧斗 2号

ぼくは3年生になってワクワクしています。理由はピカピカの1年生の妹が入学したからです。ぼくが1年生のころからずっと妹が入学してくる日を楽しみにしていました。お兄ちゃんとしてべん強を教えてあげたり、学校あん内をしてあげたり、ブランコをしたりして、いっしょにあそびたいです。妹と給食の話をしたり、いっしょにとう下校したりできてとてもうれしい気持ちになります。そして、来年の春には、もう一人の妹が入学してくるのもっと楽しくなりそうです。3年生では、新しい教科もふえるから、妹に負けぬようにべん強もがんばりたいです。ぼくが一番楽しみにしている教科は理科です。それはじっけんができるからです。わからないところがあったら、しらべたり、友だちに聞いたり、先生に聞いたりして、おぼえていきたいです。先生、1年間よろしくおねがいします。

(令和4年5月30日山陽新聞掲載)

■左は3年生の福富佐和さんの「変心カード」です。めざす人は「お母さん」。将来の夢は「ヘアサロンの美容師」です。そのために今がんばることは「手洗い、宿題」だそうです。今をがんばる。ここが大切。最後まで読んでいただきありがとうございます。

